

松嶋夜話 卷之下 40

〔原文〕余嚮在于燕山日讀大梅國師緇門寶藏集

〔訓読〕余嚮に燕山に在る日、大梅國師の緇門寶藏集を讀み

〔原文〕而準擬之編次西方修行之位次上下編

〔訓読〕之に準擬して、西方の修行の位次の上下編を編次して

〔原文〕名曰西方資糧

〔訓読〕名づけて西方資糧を曰ふ

※西方資糧…書名？

〔原文〕厥時以寄送太守先中將肯公

〔訓読〕厥の時以て太守先中將肯公に寄せて送る

〔原文〕居士闕而旨之

〔訓読〕居士闕て之を旨とし

※闕…何と訓読するのか不明。ひらく？

〔原文〕自作題序匈挾梓焉

〔訓読〕自ら題序を作りて、焉を梓せんことを匈(おそ)る

※梓…何と訓読するのか不明

〔原文〕又落后作浄土三國傳記

〔訓読〕又落后(そのち)浄土三國傳記を作る

※浄土三國傳記…不明

〔原文〕以爲西行者之手鑑矣

〔訓読〕以て西行の手鑑と為す

〔原文〕嗚吾行后二三子讀之

〔訓読〕嗚、吾が行の後、二三子之を讀む